



決勝点のPKを奪った宮崎。試合中のプレーも落ち着きを払い、安定したものだった (撮影・野澤俊介)



【上】55分に得たPKを確実に決めた赤嶺。しかし、駒大の得点はこのPKのみにとどまった
【左】試合途中に頭を負傷したにもかかわらずフル出場した廣井。結果、大阪学院大を完封した立役者となった

第29回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント1回戦

駒澤大学 1 - 0 大阪学院大学



7月5日 18:00 神戸総合運動公園ユニバー記念陸上	
駒大 1 (0 - 0) 0 大院大 (関東第1) (関西第3)	
得点者(アシスト)	
【駒】55分:赤嶺真吾 1	
KOMAZAWA	OSAKAGAKUIN
GK 牧野利昭(4)	GK 土屋明大(4)
DF 塚本泰史(2)	DF 林田真吾(4)
DF 桑原 靖(4)	DF 上田貴典(2)
DF 廣井友信(4)	DF 永田憲太郎(3)
DF 筑城和人(3)	DF 橋垣戸光一(4)
MF 八角剛史(2)	MF 岡島敬雄(3)
MF ³⁰ 東平大佑(2)	(82分 喜志田哲也(1))
(69分 小椋慶一(4))	
MF 最上大輝(4)	MF 小川浩亨(4)
(82分 阿部琢久哉(3))	MF 石櫃洋祐(4)
MF 宮崎大志郎(4)	MF 利川浩之(4)
FW 原 一樹(3)	(72分 秦 広明(4))
FW 赤嶺真吾(4)	MW 前川敬介(2)
	FW ²⁵ 馬場 悠(1)
S U B	S U B
GK ²² 山内達夫(2)	GK 福田康志(2)
MF ²³ 柳崎祥兵(3)	DF ²² 丸谷祐一(3)
MF 新川真之介(3)	MF 永倉元気(2)
MF ²³ 小林竜樹(2)	MF ²⁴ 畑中俊逸(1)
FW 巻 佑樹(3)	FW ²⁹ 新田恭史(1)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 熊田喜則
警告(C) / 退場(S)	
【駒】43分:廣井友信(C), 69分:東平大佑(C)	
【大】54分:利川浩之(C), 89分:前川敬介(C)	
[シュート]11:6[GK]10:6[CK]4:5[PK]1:0[直接FK]10:19[間接FK]13:4[OS]3:4[主審]森本洋司[観衆]約600人	
上記データは全て左側の数字が駒澤	

試合後、駒大は結果に満足できなかったのか、表情と雰囲気は重苦しいものがあった



褒めどころの無い試合
駒大が放ったシュートは11本。後半だけで数えても8本のシュートを放っていた。しかし、この試合で生まれたゴールは赤嶺のPKで奪った得点のみ。駒大の決定力不足がまたしても、明るみに出てしまった。試合後、秋田監督は「大阪学院大もしっかりひいて守っていたので、この試合は相手DFを褒めるべき」と語った。だが、相手の大阪学院大は初出場のチーム。対する駒大はこの大会を3連覇している夏の王者である。相手がディフェンシブになることは事前に分かっていた。試合中でも流れの中からは大阪学院大を崩す場面も多く見られた。

守備面でも不安要素が出てきてしまった。「クリアが小さくなり、セカンドボールを拾われてしまった」と廣井。サイドバックで出場した塚本も「中途半端にクリアをしたので前線や中盤に届かないでカットされてしまった」と試合後に話した。相手シュート数は少なく結果的には完封できたが、シュートを許した場面は決定的なものが多く、相手のシュート精度の低さに助けられたところが多かった。さらに、後半ロスタイムで猛攻を許したことに對して「自分で突破できたところでボールを下げてしまっ選手がいた」と秋田監督が語った。

多くの課題が浮き彫りになった駒大。ここで挙げた課題は今後も駒大に付きまとうのであろうか。それとも、すぐに解消できるのであろうか。全ては彼らの意識次第だ。(川崎 篤彦)